



平成30年度 果樹情報 第4号

(平成30年5月9日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (4月下旬：果樹研究所)

4月下旬の平均気温は、5半旬が14.6℃で平年より1.7℃高く、6半旬が17.1℃で平年より3.3℃高く経過しました。また、この期間の降水量は38.5mmで平年の139%でした。

2 発育状況 (果樹研究所5月1日現在)

(1) 開花状況

ア ももの満開は平年より10～11日早く、「あかつき」で4月10日でした。

イ なしの満開は平年より10～11日早く、「幸水」で4月16日でした。

ウ りんごの満開は平年より9日早く、「ふじ」で4月22日でした。

エ おうとう「佐藤錦」の満開は、4月19日で平年より6日早くなりました。

オ ぶどう「巨峰」の発芽は、4月9日で平年より10日、展葉は4月20日で平年より5日早くなりました。

(2) ももの発育予測

DVRモデルによる「あかつき」の発育予測では、本年の硬核開始日は6月3日頃で平年より7日早くなる見込みです。

表1 ももの発育予測 (5月1日現在)

品 種	硬核開始日		
	本年予測	平年	平年差
あかつき	6月3日	6月10日	7日早い

注) 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測。平年は1986年～2015年の平均。

(3) ブドウの発育予測

DVRモデルによる「巨峰」の開花予測では、今後の気温が平年並に推移した場合、開花始めが6月2日頃、満開は6月5日頃で平年より4～5日早くなる見込みです。

表2 ブドウ「巨峰」の開花予測日 (5月1日現在)

発育ステージ	今後の気温経過と開花予測日				
	昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い
開花始め	6月1日	6月6日	6月2日	5月29日	6月8日
満 開	6月6日	6月10日	6月5日	5月31日	6月12日

注) 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測。平年は1988～2015年の平均。

※東北地方1か月予報 (仙台管区气象台 平成30年5月3日発表)

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目 (5月5日～5月11日) は、平年並の確率50%です。2週目 (5月12日～5月18日) は、高い確率50%です。3～4週目は、高い確率 (5月19日～6月1日) 50%です。

3 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も弱くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。生育ステージごとの安全限界温度を下回る温度に遭遇する恐れがある場合には的確に防霜対策を実施しましょう。

各樹種の生育ステージ別安全限界温度は、下記の技術資料を参照してください。

「作物別凍霜害及びひょう害技術対策（平成30年3月12日）」

URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/257524.pdf>

降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、結実状況に応じた摘果等の管理を適切に行いましょう。

4 病虫害防除上の留意点

(1) 病害

ア モモせん孔細菌病

福島地域、伊達地域ともに春型枝病斑の発生は、平年よりやや多い状況であり、今後の風雨によって発生が増加するおそれがあります。このため、耕種的防除と薬剤散布を組み合わせ実施し、園内の菌密度を低く保つように心がける必要があります。

園地をこまめに巡回して春型枝病斑を見つけ次第せん除し、適切に処分してください。新梢が伸長して葉数が増加すると、春型枝病斑の発見しにくくなりますが、新梢及び新梢葉の生育不良や罹病葉の発生位置を発見の目安とし、病斑のせん除を徹底しましょう。また、予防散布を基本にせん孔細菌病防除剤を必ず使用しましょう。

イ モモ灰星病

灰星病による花腐れから進展した枯れ枝を放置すると、他の核果類やももの成熟期における果実への伝染源となるので、見つけ次第せん除し適切に処分しましょう。

ウ ナシ黒星病

果そう基部病斑は見つけしだい除去して適切に処分し、薬剤防除を徹底しましょう。果そう基部病斑が多いほ場や、開花前後の薬剤防除間隔が空いたほ場は、5月上中旬にユニックス顆粒水和剤47,000倍やファンタジスタ顆粒水和剤3,000倍を選択し、5月中の薬剤防除は約7日間隔で実施しましょう。

(2) 虫害

ア ハマキムシ類

リンゴモンハマキ越冬世代成虫の発生盛期は5月2～3半旬頃になると推測され、リンゴコカクモンハマキの発生もこれに準ずると考えられるため、複合交信かく乱剤を設置してないほ場では早急に設置しましょう。

リンゴモンハマキ第1世代幼虫の防除適期は、今後の気温が平年並みに推移した場合、5月6半旬頃になると推定されます。

イ モモハモグリガ

現在、越冬世代成虫の発生は終息したと考えられます。モモハモグリガ第2世代幼虫の防除適期は、今後の気温が平年並みに推移した場合、6月1半旬頃になると推定されます。

ウ カメムシ類

越冬世代成虫による加害は幼果期から始まる場合があるので、特に山沿いの果樹園ではカメムシ類の飛来状況をよく観察し、多数の飛来が見られる場合は速やかに防除を行いましょう。

表3 果樹研究所における主要害虫に対する防除時期の推定（平成30年5月1日現在）

今後の 気温予測	リンゴモンハマキ		モモハモグリガ		ナシヒメシンクイ	
	越冬世代 成虫盛期	第1世代 防除適期	第1世代 成虫盛期	第2世代 防除適期	第1世代 成虫盛期	第2世代 防除適期
2℃高い	5月8日	5月22日	5月23日	5月29日	6月12日	6月20日
平年並み	5月10日	5月28日	5月28日	6月3日	6月20日	6月30日
2℃低い	5月14日	6月3日	6月3日	6月11日	7月2日	7月12日

注) 演算方法は、三角法による。

起算日 リンゴモンハマキ：3月1日、モモハモグリガ：4月11日

ナシヒメシンクイ：4月23日

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧いただけます。)

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>